

ASKレポート

No.0025

2015年4月27日(月)

担当： 松村

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

ASK 税理士法人

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

シンガポール国際会議

はじめに

M&Aセンターの国際会議(シンガポール)に参加しましたのでレポートします。シンガポール、みなさま、ご存知ですか？

シンガポール

東南アジアに位置し、国土の面積は700km²、人口は約500万人です。年齢構成は、若い世代が非常に多く元気な国です。東京23区と比較すると面積はほぼ同じで、東京23区の人口は約900万人と23区の半分強です。

一人当たりGDP比較は、シンガポールが約78,000USDと日本の約2倍と高いです。シンガポールは、現在も高層ビルの建築ラッシュで活気があり今後も発展していきそうですが、物価面は日本の約2~3倍と割高感がありました。経済面では世界各国が、シンガポールに進出してきていますが、日本は世界に比べて進出が遅れているようです。

日本にいて日本は分からない

田村耕太郎氏の講演では、日本企業のアジア進出が遅れているのでこれを推進していました。田村氏は、元参議院議員で第一次安倍政権に携わり、現在は国立シンガポール大学の講師をされながら、日本企業のアジア進出をレポートされています。

今後の日本

アジアの発展は目覚ましいものがあり、日本企業もアジア市場を無視できません。アジア進出の方法は、新規に海外進出する方法、M&Aによる方法などがあります。M&Aによるメリットは、進出時間の短縮、ライセンス取得が不要、人材をそのまま引き継ぐことが可能などです。一方、デメリットとしては、良い相手を探せるか、労働問題の隠ぺいがないか、などがあります。

日本国内では

現在の日本は人口の高齢化と共に、日本企業のオーナーも高齢化が進んでいます。少しずつ事業承継を考え、新しい世代へ移行していく準備が必要でしょう。

また、今後は人口の減少により市場が縮小していくため、競争が激しくなっていきます。対応のひとつとしてM&Aがあり、先ほどのメリット・デメリットを認識して検討のひとつとして下さい。

最後に

世界も含め日本国内でも、今後は何事でも大きく変化していくでしょう。これに対応して順応していく必要があります。現状維持や過去と同様という考えはやめて、新しい方向で発想し、行動していくべきだと感じました。

